

▶次回は4月24日、いちい桑折店で開催します



在宅で介護をしている介護者同士の交流や心とからだのリフレッシュを目的とした家族介護者交流事業が3月7日、福島市で行われ、14人が参加しました。

当日は、リトリーフアートミュージアム福島

心とからだをリフレッシュ 家族介護者交流事業

や福島片岡鶴太郎美術庭園を見学し、穴原温泉月乃瀬で交流会を行いました。交流会では、昼食をしたり入浴をしたり、日ごろの悩みや介護に対する思いなどを話し合うなど、癒しのひと時を過ごしました。



▶介護について日ごろの悩みや思いを共有する皆さん

認知症と薬の関係性を知る オレンジカフェもんも

認知症について理解を深める「オレンジカフェもんも」が2月27日、イコーゼで開かれ、35人が参加しました。当日は、保原薬局桑折店の坂本能章さんが、「認知症とともに生きる」薬の正しい使い方」をテーマに講

話を行い、カフェタイムでは日ごろの悩みや意見交換を行い、認知症への理解を深めました。

今年度の開催予定などは、広報こおりお知らせ版や町ホームページなどでお知らせしますので、ぜひご参加ください。

農地利用最適化推進委員に 関根さんを委嘱

前任者の退任により、2月17日付で、関根浩二さんを農地利用最適化推進委員（松原・成田地区）に委嘱しました。

農地の集積・集約化など、効率的な農地利用を目指し、推進活動をしていただきます。任期は、令和8年7月19日までです。



広 告

適正な選挙管理・啓発に貢献 町選挙管理委員会に総務大臣表彰

町選挙管理委員会は、昨年の第50回衆議院議員総選挙において、選挙の適正な管理や啓発推進活動に貢献したとして、総務大臣表彰および県選挙管理委員会委員長表彰を受賞しました。

伝達式が3月17日、役場で行われ、県選挙管理委員会県北地方事務局の白石孝

之局長が表彰を伝達。同委員会の平井吉衛委員長は「街頭啓発や親子連れ投票の推進、広報車による周知など、投票総参加に向けた啓発活動を実施している。今回の受賞は、選挙に関わる全ての人の力によるもの。引き続き適正な選挙執行に努める」と話しました。



▲（左から）白石局長、國分美智子委員、平井委員長、小竹利勝職務代理、佐藤武明委員、高橋町長

新しい制服に心躍らす 新入園児・新入学生に制服贈呈

町は、令和7年度新入園児・新入学児童生徒へ入園・入学のお祝いとして、町内の幼稚園と小中学校の制服を贈呈しました。この事業は、子どもたちに新たな気持ちで幼稚園や小中学校の生活を送ってほしいという思いと、入学時における保護者の経済的負担の軽減を

目的に実施しています。

醸芳幼稚園では小学校へ入学予定の園児らに対する制服贈呈式が2月20日に行われ、佐藤浩哉教育長が「新しい制服を着て、すばらしい学校生活を送ってください」と挨拶。園児らは、制服を受け取り新生活に胸を膨らませました。



▲佐藤教育長より新しい制服を受け取り、春から始まる学校生活に期待を膨らませる代表園児の皆さん

広 告

広 告